第７回全国木橋サミット in 函館

主催：函館工業高等専門学校
共催：土木学会木材工学委員会
後援：函館市、函館市教育委員会、
　　一般社団法人木橋技術協会
日程：令和7年8月21日(木)-22日(金)
場所：函館工業高等専門学校・五稜郭公園

プログラム

8/21(木)　13:30-17:00
- 講演
- ポスターセッション
- 見学(屋内架設実験)
- 見学(屋外展示橋)

8/22(金)　9:30-12:00
- 五稜郭公園木橋見学
- 箱館奉行所見学
- 五稜郭タワー見学

全国木橋サミットは木橋に携わる方々の交流の場です。第1回目から第6回目まで、木橋を管理する自治体がサミットを開催し地域での木橋の活用の仕方や維持管理の方法等の意見交換をしてきました。地域のシンボル的な木橋、生活道路としての木橋、観光客を呼び寄せる木橋、歴史と共に歩んできた木橋など様々な表情をもつ木橋の姿を見せてくれます。

第7回目を迎える今回の木橋サミットでは、これまでとは趣向を変えて「木橋の新たな技術展開」をテーマとして開催します。木材の持つ優れた加工性と人力での運搬が可能なほど軽量であることに注目し、新たに開発した災害復旧用の橋を紹介します。鋼材やコンクリートでは困難な超短時間架設が可能となります。

木トラス橋ラインナップ

＜講演＞　「木橋の新たな技術展開」

- 災害時における緊急仮設橋の必要性
- 120㎜角スギ製材を用いた木製ワーレントラス橋(1号橋、4号橋)
- ツーバイエイト材を用いた木製ワーレントラス橋(2号橋)
- 折り畳み式木製ハウトラス橋(3号橋)

講師：平沢　秀之　(函館工業高等専門学校　社会基盤工学科　教授)

札幌生まれ。1991年北海道大学大学院修士課程修了。北海道大学助手。2002年博士(工学)。2005年函館工業高等専門学校助教授。2011年函館工業高等専門学校教授。土木学会 木材工学委員会 木橋の新技術に関する研究小委員会幹事・論文集編集小委員会委員。専門：橋梁工学、構造工学。